

かもう公民館 図書室だより

平成29年 5月号
蒲生公民館図書室 ☎52-1771

5月 (May)

5月の第2日曜日は、母親に感謝を捧げる『母の日』。アメリカで始まった行事で、日本には大正時代に教会を通して伝わりました。母の日は世界中設けられており、時期はそれぞれの国によって違います。日頃の感謝の気持ちを、カーネーションに「ありがとう」と託しましょう。(参考資料「なごみ歳時記」)



こどもの読書週間「展示コーナー」のお知らせ

4月23日は「子ども読書の日」

4月12日(水)～5月12日(金)の期間、「にほんのむかしばなし」をテーマに、絵本や児童書を集めた展示コーナーを設けてます。

ぜひ、ご覧ください!



また、図書館と学校給食のコラボ企画「ものがたりレシピをいただきます!」に関する本も展示中です。

今年のコラボ給食は「おとうふやさん」&「陳建民」/



●5月カレンダー

休室日 ○

日	月	火	水	木	金	土
	1	2	3	4	5	6
7	8	9	10	11	12	13
14	15	16	17	18	19	20
21	22	23	24	25	26	27
28	29	30	31			

開室日 : 火～日曜日
(月曜・祝日は休室)
開室時間 : 9:00～17:00
(12:00～13:00は休室)
貸出冊数 : 8冊(うち紙芝居2点)
貸出期間 : 15日間

新着図書のご案内

※中央・加治木の本も予約できます。

始良市立図書館ホームページ
<http://lib-airajp/>

「本を守ろうとする 猫の話」 夏川草介 著



古書店を営む祖父が亡くなった。高校生の林太郎は、店の整理中に書棚の奥で人間の言葉を話すトラネコと出会い…。『神様のカルテ』筆者が描く、ファンタジー長編。

じゃんけんの勝率、席決め、プランコのこぎ方…生きていく中で起きる“やっかいな問題”をスッキリ解決。思考ツールとしての数学の活用術を紹介する一冊。



「スウガクって、なんの役に立ちますか?」
杉原厚吉 著

「モノの数え方えほん」 町田健 監修



「モノの数え方」にはおどろきとふしぎがいっぱい。生き物・食べ物・身近なものなど、知っているようで意外と知らない、モノの数え方の基本が身につく学習絵本。

一般書

「ルポ トランプ王国」 金成隆一
「検査値ガイドブック」 江口正信
「サイコパス」 中野信子
「かしい暮らしの作り方」 榎出版社
「おいしい発酵食生活」 真藤舞衣子
「騎士団長殺し」 村上春樹
「それでもこの世は悪くなかった」 佐藤愛子

児童書

「あさですよよるですよ」 かこさとし
「はじめての釣り」 上地優歩
「辞書びきえほんことわざ」 陰山英男

2017年 本屋大賞が決定!



※貸出中の場合は、予約ができます。

大賞

「蜜蜂と遠雷」

恩田陸 著

3年ごとに開催される、芳ヶ江国際ピアノコンクール。人間の才能と運命、そして音楽を描き切った、数多の天才たちが繰り上げる著者渾身の青春群像小説。(第156回 直木賞受賞作品)

【本屋大賞】 「全国書店員が選んだいちばん! 売りたい本」をキャッチコピーに、書店員が読んで「面白かった」、「お客様にも薦めたい」、「自分の店で売りたい」と思った本を選び、投票して決定される賞。



ぐるぐる蒲生めぐり

蒲生士族共有社 (かもうしぞくきょうゆうしゃ)

蒲生士族共有社とは、かつて蒲生在住の旧士族が設立した会社のこと。その前身は維新前、幕末の戦乱の時代に官有地の払い下げを受け、兵士の訓練を行っていたことに始まる。明治になると新しい時代に不可欠と考えられた教育の発展や、耕地などの公共事業を担うようになる。大正時代になると、組織の基盤を固めるために社団法人として設立。終戦後は士族だけでこうした組織をもつ時代ではないとの議論が起こり、米軍の介入もあり解散し、株式会社組織に移行した。



司馬遼太郎「街道をゆく3」でも紹介されています。

参考資料

「蒲生郷土誌」
「蒲生の歴史と産業」